

Jikencenter

NEWS

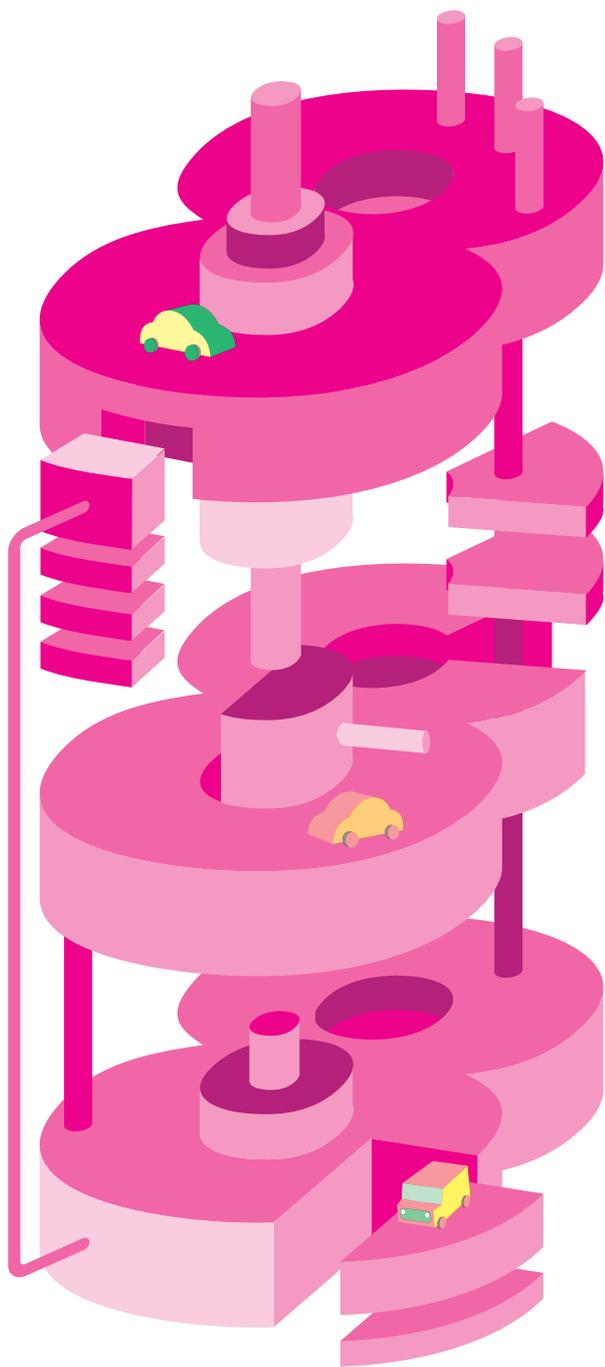
自研センターニュース 令和5年8月15日発行
毎月1回15日発行(通巻575号)

8

AUGUST 2023

C O N T E N T S

新型車構造情報.....	2
アウディ A3 Sportback (GYDLA)のボディ構造について	
「構造調査シリーズ」新刊のご案内.....	23



新型車構造情報

アウディ A3 Sportback (GYDLA) の ボディ構造について



今回は、アウディ A3 Sportback 30 TFSI (GYDLA) (2022 年モデル) のボディ構造や補給部品、作業方法について、同プラットフォーム車種のフォルクスワーゲン ゴルフ8 (CDDFY) および T-Roc (A1DFF) との比較を交えて紹介します。また、板厚については弊社で調査した結果を参考値として記載しています。なお、2023 年 6 月号では、A3 Sportback の前後の外板パネルを中心とした構造紹介と、弊社で行った衝突実験の損傷診断事例を紹介していますので、そちらも参照ください。



ゴルフ8 (CDDFY)



T-Roc (A1DFF)

A3 Sportback としては、2013 年に2代目が発表され、今回紹介するモデルは 2021 年 4 月に発売された3代目となります。



前モデル(2代目) A3 Sportback 1.4 TFSI

	前型車	現行車	数値差
全長 (mm)	4,325	4,345	+20
全幅 (mm)	1,785	1,815	+30
全高 (mm)	1,450	1,450	±0
ホイールベース (mm)	2,635	2,635	±0
Frトレッド (mm)	1,535	1,555	+20
Rrトレッド (mm)	1,505	1,545	+40
重量 (kg)	1,320	1,320	±0

A3 Sportback の前モデル^{※1}と比較した各数値は上記のとおりで大きな差はありません。プラットフォームは、ゴルフ7 (2013 年国内発売) で初めて採用された「MQB^{※2}」を採用しており、キャビン骨格などは、ボディの30% (重量比率) に熱間成形スチールを採用することで、高いボディ剛性と軽量化、優れた安全性を実現しています。

※1 2016 年自研センター調査車両 A3 Sportback 1.4 TFSI (8VCXS)

※2 MQB:ドイツ語でモジュールキットを意味する「Modulare Quer Baukasten」の頭文字をとったもので、英語表記では「Modular Transverse Matrix」です。日本語では「車型を横断して共通部品を組合せる方法」の意味で、従来のセグメント毎に開発・生産されていたプラットフォームを、セグメントの枠を超えて共通部品を増やし、生産コストと車両価格の抑制を目的に開発されました。

【主な MQB 採用車種 (発売開始時期)】

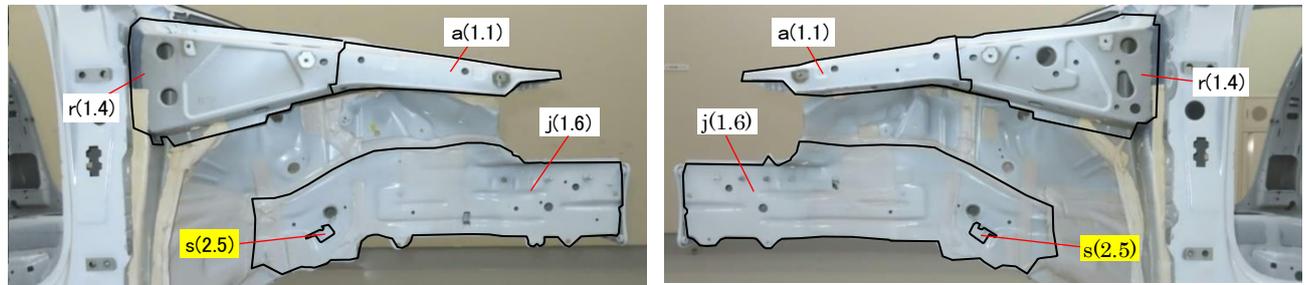
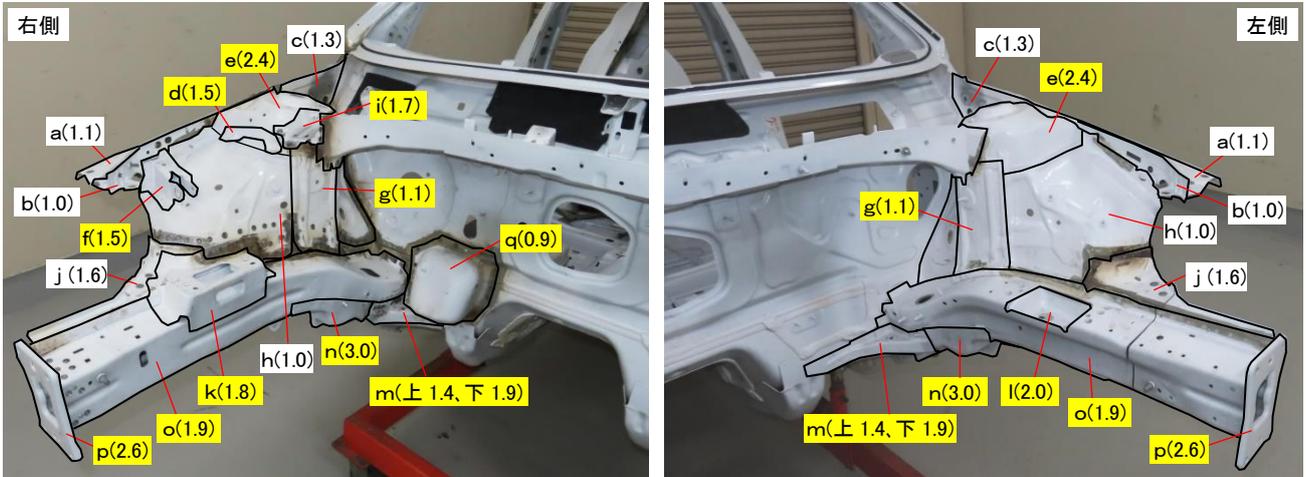
フォルクワーゲン … ゴルフ7 (2013～)、パサート (2015～)、ゴルフトゥーラン (2016～)、ティグアン (2017～)、
アルテオン (2017～)、ポロ (2018～)、T-Roc (2020～)、T-Cross (2021～)、ゴルフ8 (2021～)
アウディ …………… A3 Sportback (2013～)、TT (2015～)、Q2 (2017～)、A1 (2019～)、A3 Sportback (2020～)

1. フロントボディ構造、補給形態および取替作業

(1) フロントボディ補給形態

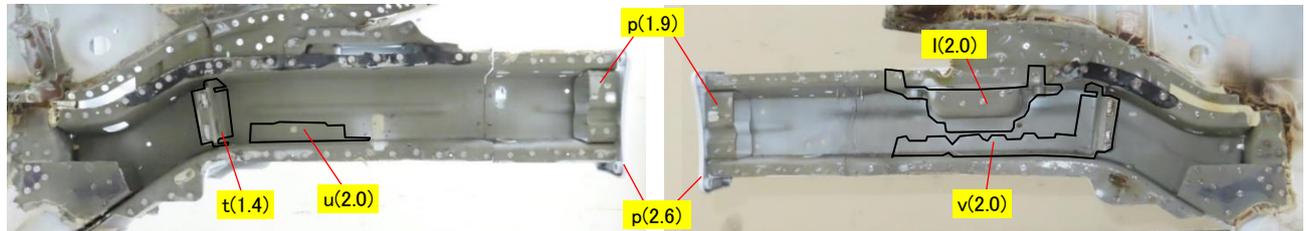
A3 Sportback の部品番号をゴルフ8、T-Rocと比較し、同じ部品は記号を■でマーキングしています。詳細は下表を参照ください。

(): 板厚 mm、■: ゴルフ8、T-Roc と同じ部品



クロスメンバカバープレート取外し状態

(): 板厚 mm、■: ゴルフ8、T-Roc と同じ部品



【補給部品詳細】

※部品補給設定がない部品は通称名を記載しています。

※ゴルフ8、T-Rocと部品番号を比較し、同じ部品には「同」を記載しています(2023年4月現在)。

記号	部品名	補給	ゴルフ8	T-Roc	記号	部品名	補給	ゴルフ8	T-Roc
a	エンドプレート	○			l	ギヤボックスブラケット(左側のみ)	○	同	同
b	コネクティングプレート	○			m	サイドメンバ用ラインホースメントロア	○	同	同
c	Aピラーインナ	×			n	フロントサブフレームリテーナ	○	同	同
d	リザーバブラケット(右側のみ)	○	同		o	フロントサイドメンバ	○	同(左)	同
e	ストラットマウント	○	同		p	フロントカバープレート	○	同	同
f	エンジンキャリアリテーナ(右側のみ)	○	同		q	フィルタプレート	○	同	同
g	フロントホイールハウジングラインホース	○	同		r	サイドメンバリヤ	×		
h	ホイールハウジング	×			s	フロントブレーキホース用ブラケット	○	同	同
i	ガスフィルドストラットマウント(右側のみ)	○	同		t	ファイラプレート(右側のみ)	○		同
j	クロスメンバカバープレート	×			u	サポートプレート(右側のみ)	○		同
k	エンジンマウントブラケット(右側のみ)	○	同	同	v	ファイラプレート(左側のみ)	○	同	同

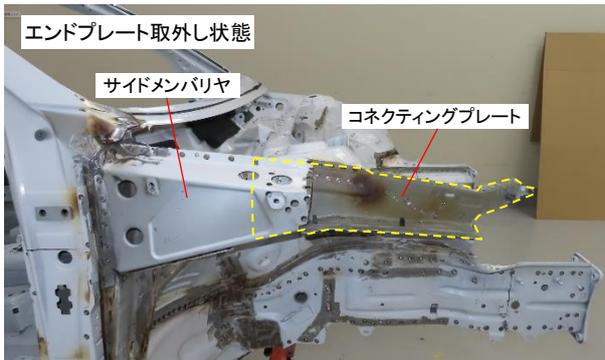
【Assy 補給品】

部品名	構成部品	ゴルフ8	T-Roc	部品名	構成部品	ゴルフ8	T-Roc
サイドメンバ	a + r			クロスメンバカバープレート	j + s		同(左)
ホイールハウジング(右側)	d + e + f + g + i	同		ホイールハウジング(左側)	e + g + h	同	

(2) ホイールハウジング取替

① サイドメンバ取替

サイドメンバは、前部のみ(エンドプレート)の他に、前後部が一体の補給部品(サイドメンバ)が設定されており、損傷に応じた範囲での取替作業が可能です。

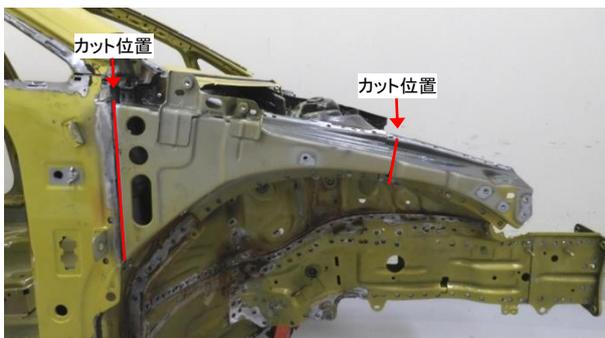


コネクティングプレートを取替える際、後端部がサイドメンバリヤの内側に入り込んでいるため、サイドメンバ(Assy)を取外す必要があります。

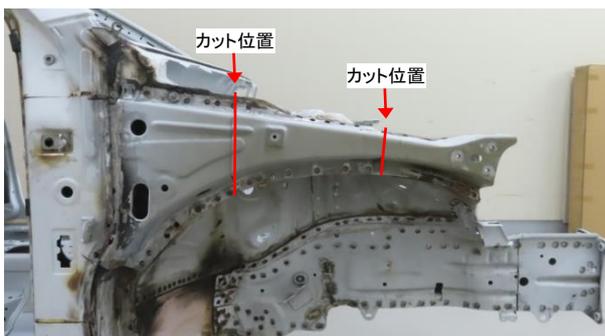
A3 Sportback は前部の補給部品が設定されていますが、カット取替は指示されていません。

ゴルフ8、T-Roc は部品が一枚の鋼板でできているため分割の補給部品が設定されていませんが、カット取替が指示されています。

<参考>ゴルフ8



<参考>T-Roc

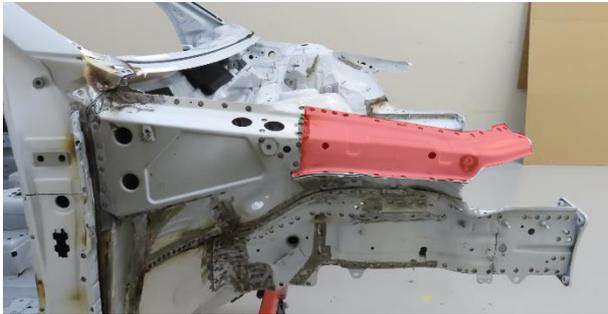


サイドメンバ用リインホースメントアッパ(右側のみ)

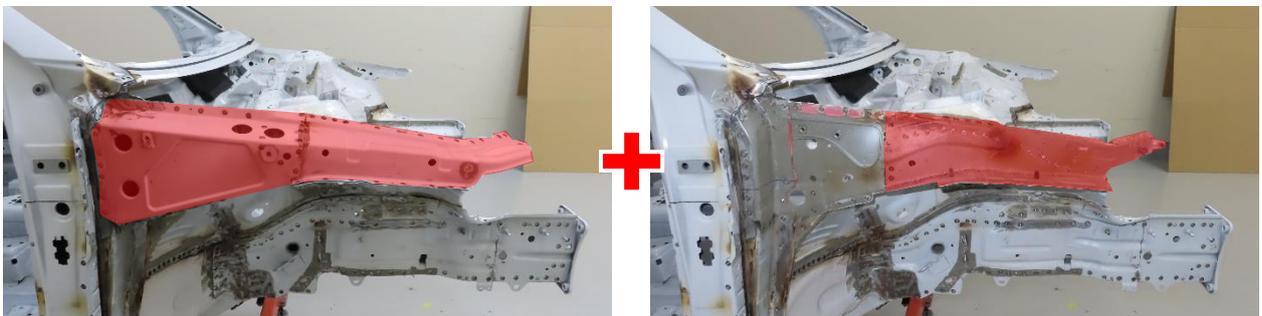
<エンドプレート、サイドメンバ、コネクティングプレート取替範囲例>

損傷に応じた取替範囲の例を以下に記します。なお、各作業範囲に対して指数がある場合は、指数の作業項目番号を併記しています。

取替範囲例(A): エンドプレート取替 (指数項目番号「B139(1)」)



取替範囲例(B): サイドメンバ(Assy)、コネクティングプレート取替 (指数項目番号「B139(2)」)



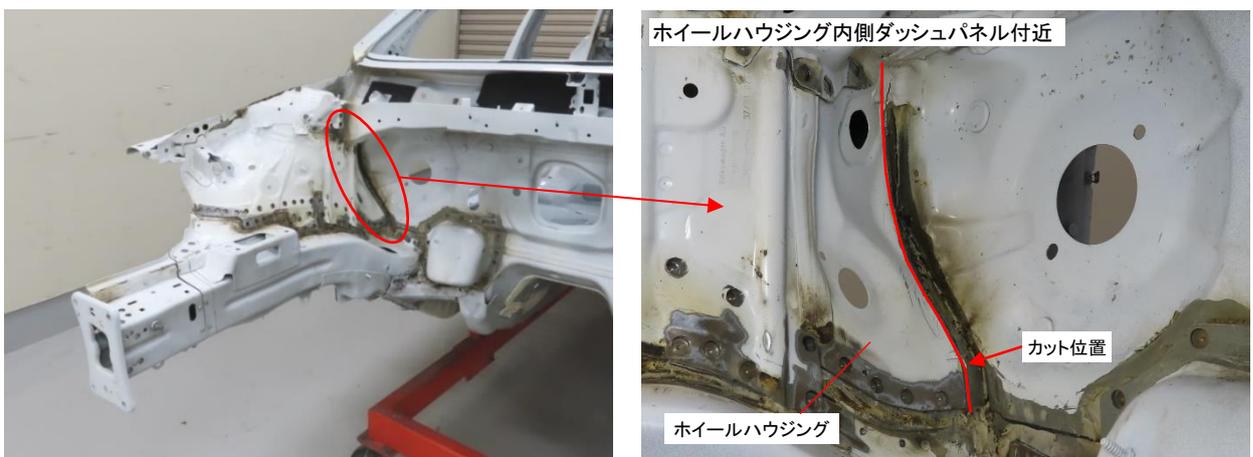
【作業範囲概要】 (A) エンドプレートのみ取替

(B) (A)の作業に加えて、サイドメンバリヤ、コネクティングプレートを取替

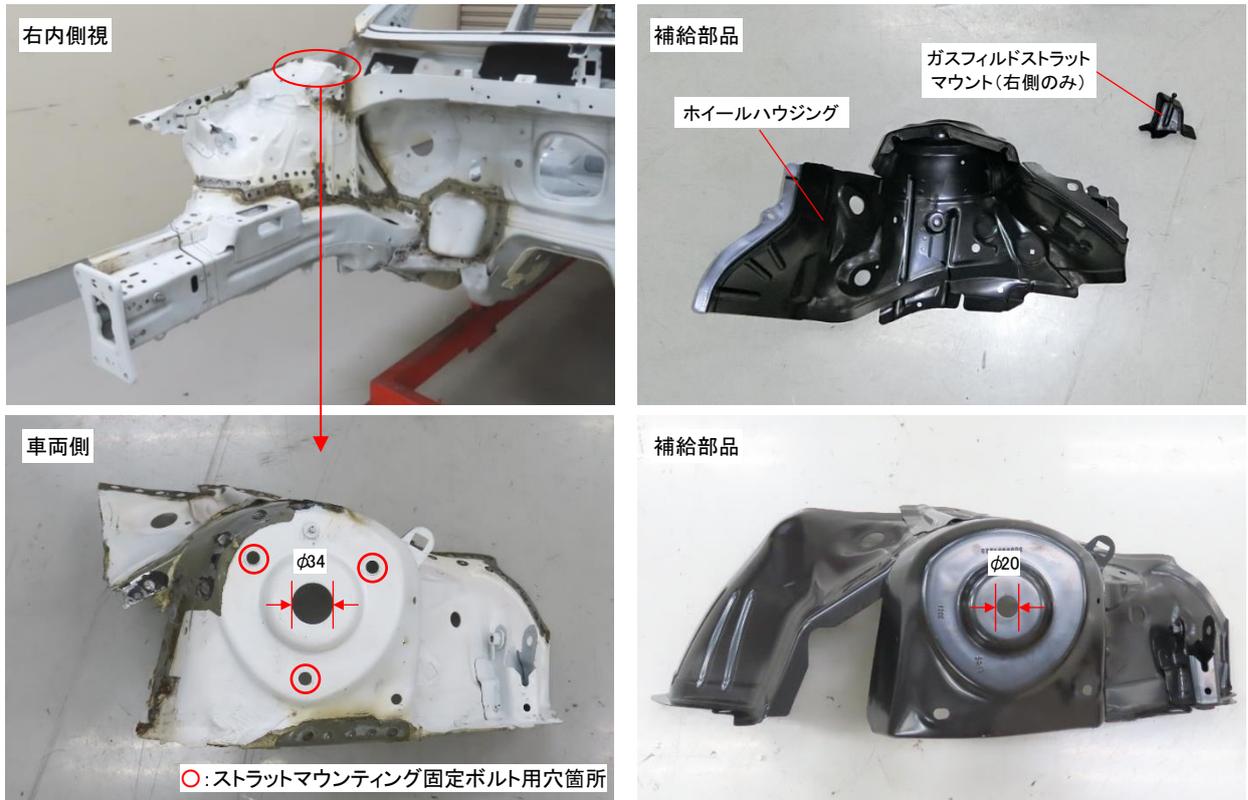
※サイドメンバリヤを取替える際、エンドプレートおよびサイドメンバリヤの Assy 部品を使用

②ホイールハウジング取替

ホイールハウジングは補給形態どおりの取替作業とは別に、後部でのカット作業が指示されており、損傷に応じた範囲での取替作業が可能です。

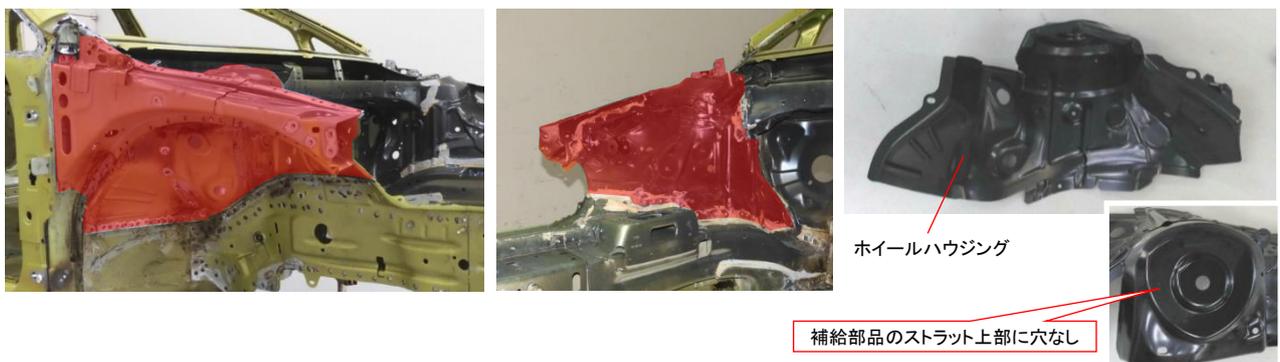


ホイールハウジングの補給部品にはストラットマウンティングを固定するためのボルト穴が開いていないため、穴あけ加工を行う必要があります(穴径: $\phi 10\text{mm}$)。また、ホイールハウジング上部中央の穴が小さいため拡大する作業が必要です(補給部品穴径: $\phi 20\text{mm}$ 、車両側穴径: $\phi 34\text{mm}$)。



ゴルフ8とは構造や補給形態が似ています。また、T-Roc とは部品番号が同じです(2023年4月現在)。

<参考>ゴルフ8



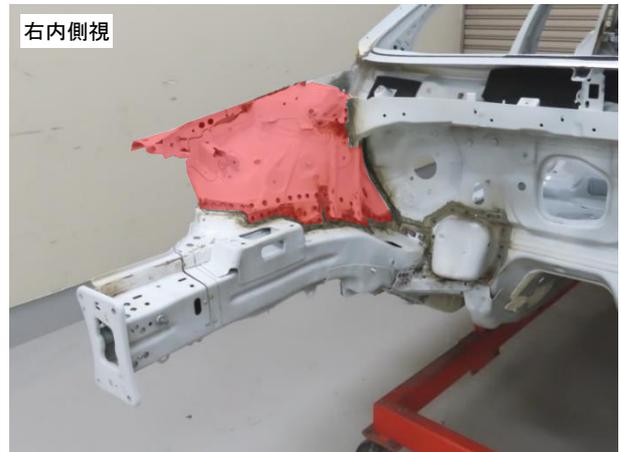
<参考>T-Roc



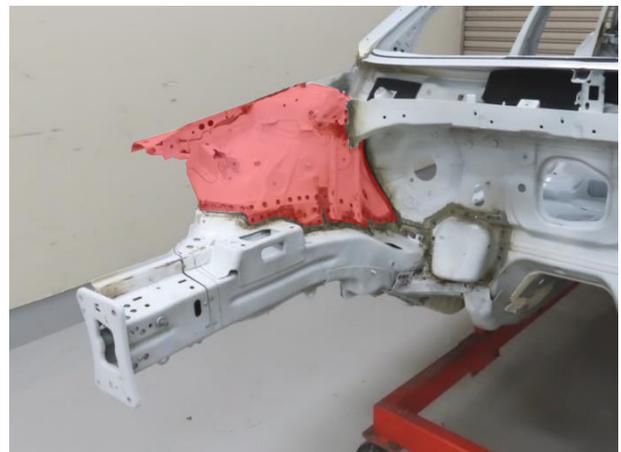
<ホイールハウジング取替範囲例>

損傷に応じた取替範囲の例を以下に記します。なお、各作業範囲に対して指数がある場合は、その作業項目番号を併記しています。

取替範囲例(A)：サイドメンバ(Assy)、コネクティングプレート、ホイールハウジング後部半載取替（指数項目番号「B150」）



取替範囲例(B)：サイドメンバ(Assy)、コネクティングプレート、ホイールハウジング取替（指数なし）

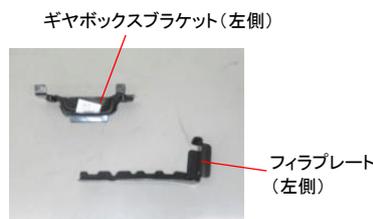
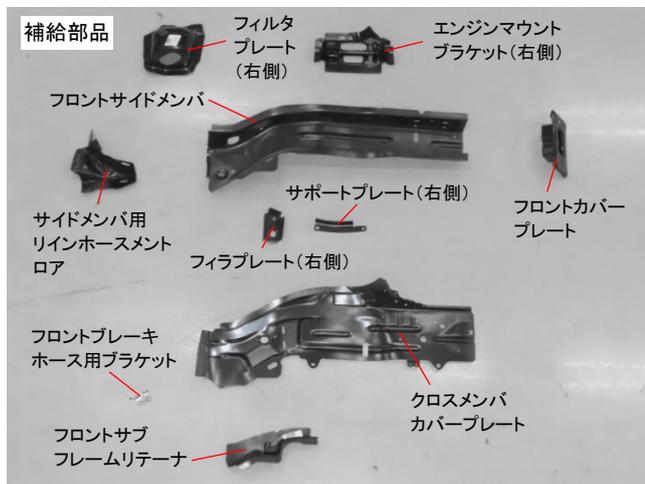


【作業範囲概要】 (A)ホイールハウジングを後部でカットし、後端部をボディに残して取替
(B)ホイールハウジングを補給形態どおりに取替

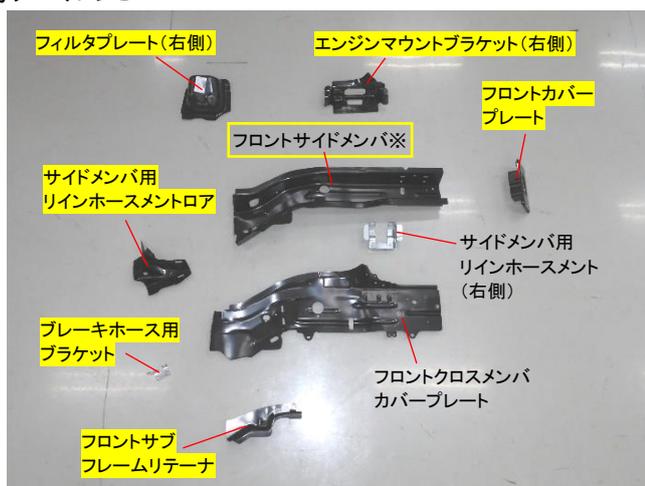
(3) フロントサイドメンバ取替

フロントサイドメンバの取替または半載取替を行う際、Assy 部品の補給設定がされていないため単品部品を使用して取替えます。

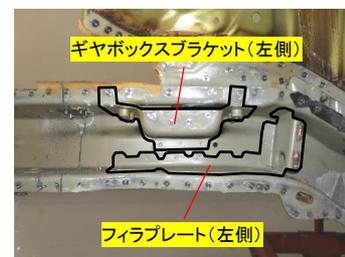
なお、ゴルフ8、T-Roc も A3 Sportback と同様に Assy 部品の補給設定がありません。また、A3 Sportback と同じ部品番号の部品が多く採用されています(2023年4月現在)。



<参考>ゴルフ8



※フロントサイドメンバ左側は同じ部品番号だが、右側は異なる



■: A3 Sportback と同じ部品

<参考>T-Roc



※クロスメンバカバープレート左側は同じ部品番号だが、右側は異なる



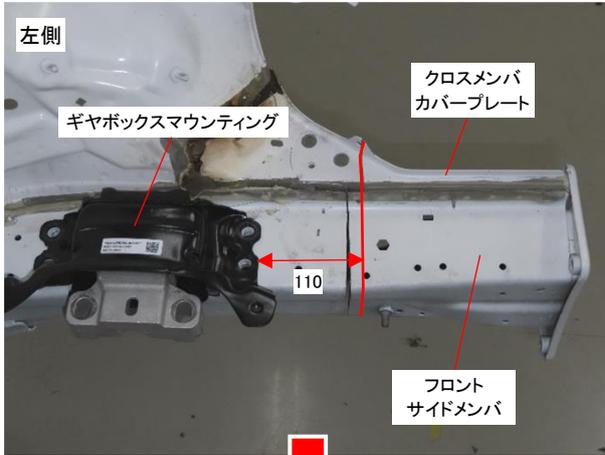
■: A3 Sportback と同じ部品

①フロントサイドメンバ半裁取替

フロントサイドメンバは、カット取替が指示されているため損傷に応じた範囲での取替作業が可能です。

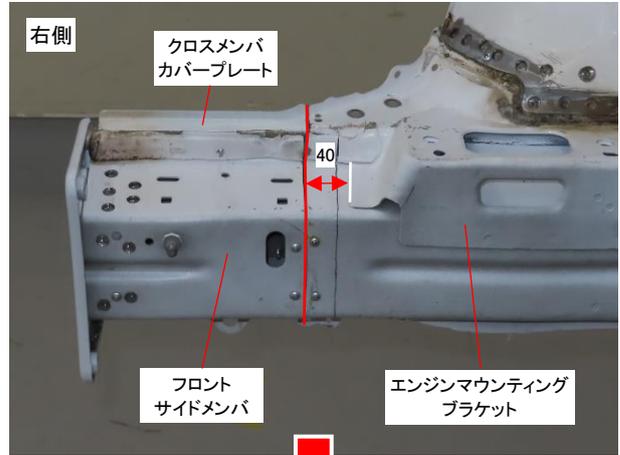
【左側】

- a. ギヤボックスマウンティング先端より 110mm の位置で、フロントサイドメンバおよびクロスメンバカバープレートをカットします。

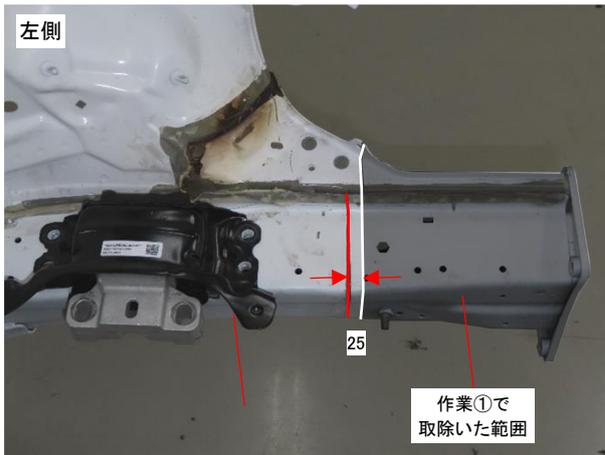


【右側】

- a. エンジンマウンティングブラケット先端より 40mm の位置で、フロントサイドメンバおよびクロスメンバカバープレートをカットします。



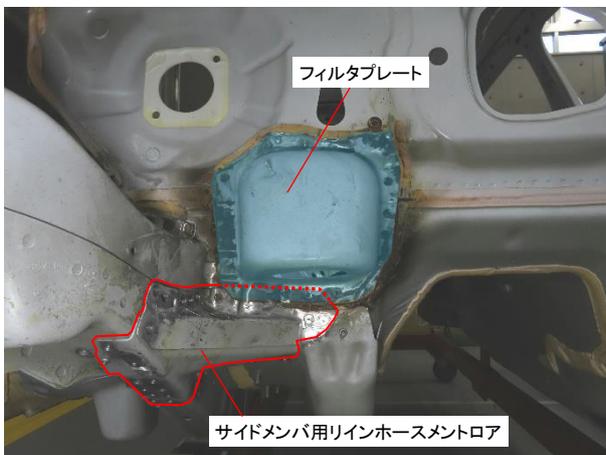
- b. 前述でカットした位置より 25mm 後方位置で、フロントサイドメンバを再度カットします。



- b. 前述でカットした位置より 25mm 後方位置で、フロントサイドメンバを再度カットします。



②フロントサイドメンバ (Assy) 取替

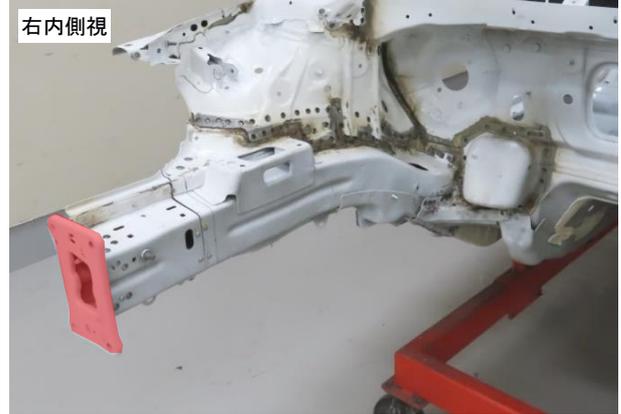


右側は、フロントサイドメンバ後部(サイドメンバ用リインホースメントロア)にフィルタプレートが重なって取付けられているため、フィルタプレートを取外す必要があります。

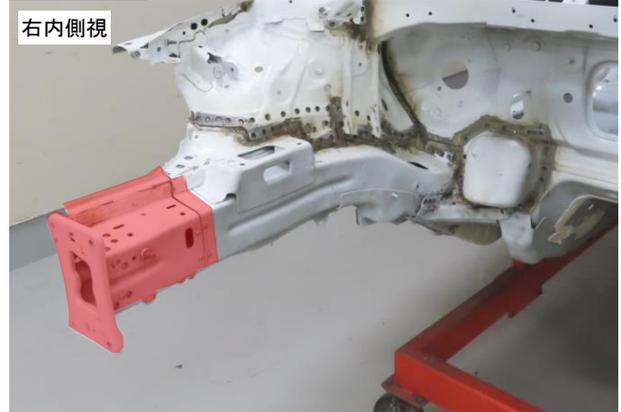
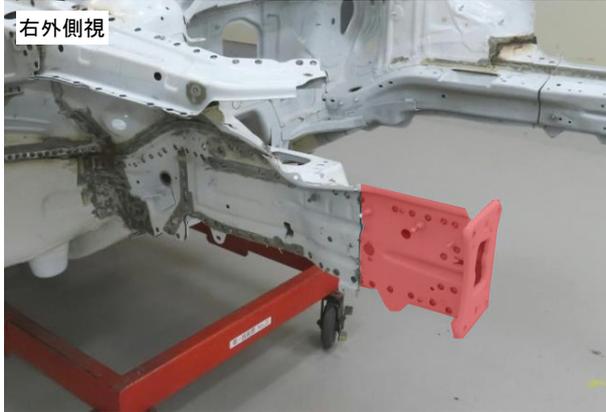
<フロントサイドメンバ取替範囲例>

損傷に応じた取替範囲の例を以下に記します。なお、各作業範囲に対して指数がある場合は、その作業項目番号を併記しています。

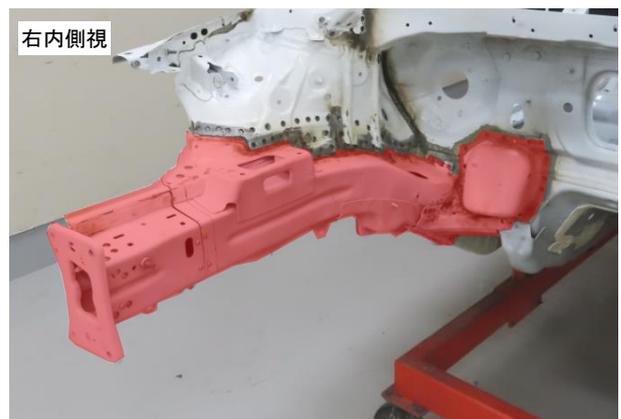
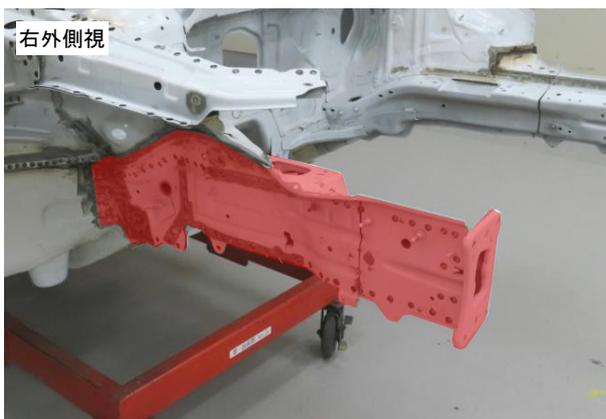
取替範囲例(A):フロントカバープレート取替 (指数項目番号「B172(1)」)



取替範囲例(B):フロントサイドメンバ半載取替 (指数項目番号「B172(2)」)



取替範囲例(C):フロントサイドメンバ取替 (指数項目番号「B174」)



- 【作業範囲概要】 (A)フロントカバープレートのみ取替
(B) (A)の作業に加えて、フロントサイドメンバを前部でカットして取替
(C)フロントサイドメンバの取替

2. サイドボディ構造、補給形態および取替作業

(1) サイドパネルアウタ補給形態

(): 板厚 mm



【補給部品詳細】※部品補給設定がない部品は通称名を記載しています

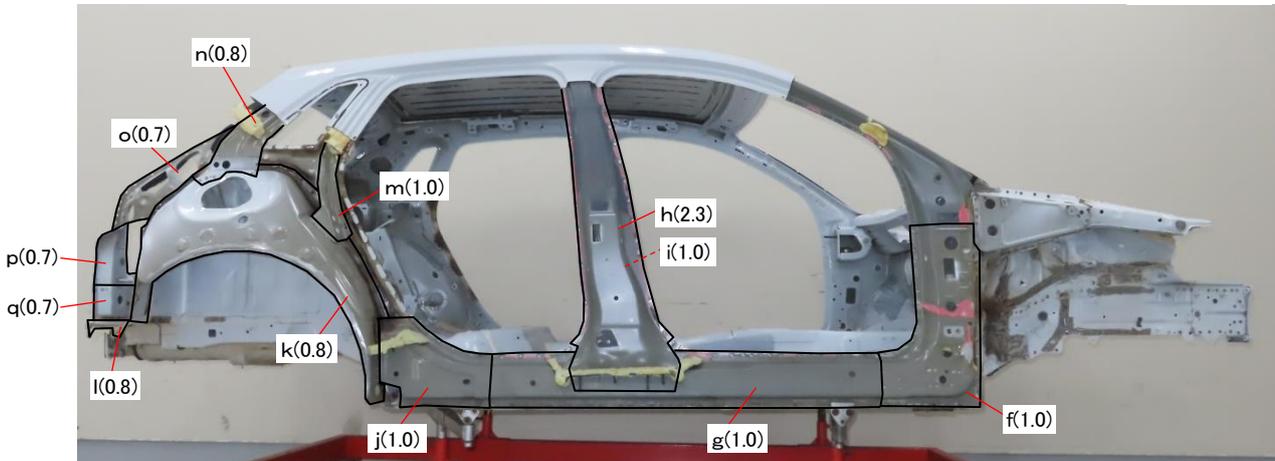
記号	部品名	補給	記号	部品名	補給
a	A/Bピラーサイドメンバ付サブパート	×	d	リヤサイドパネルサブパート	×
b	フェンダブラケット	○	e	インサートプレート	○
c	フロントエンドプレート	○			

【Assy 補給品】

部品名	構成部品	部品名	構成部品
サイドパネルフレーム	a + b + c + d + e	リヤサイドパネルサブパート	d + e
A/Bピラーサイドメンバ付サブパート	a + b + c		

(2) インナパネル補給形態

(): 板厚 mm



【補給部品詳細】※部品補給設定がない部品は通称名を記載しています

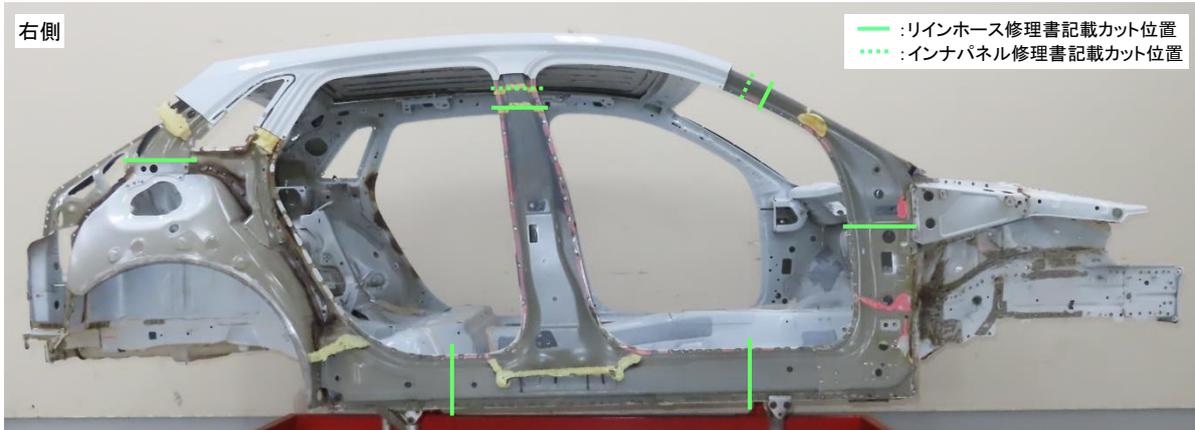
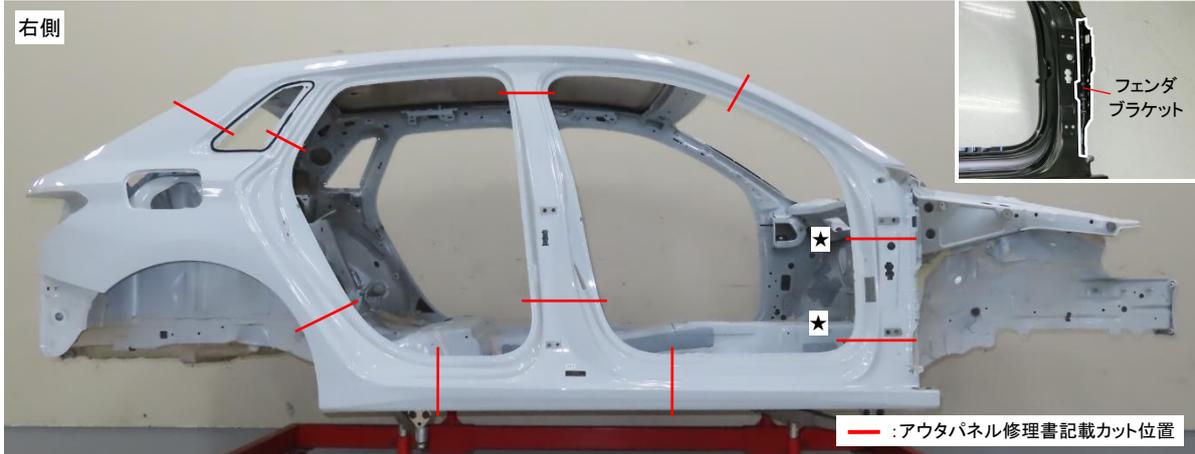
記号	部品名	補給	記号	部品名	補給
f	アウタAピラーロア	○	l	リヤコネクティングプレート	○
g	サイドメンバ	×	m	ロックラインホースメント	○
h	Bピラーインナ	○	n	サポート	○
i	フィルタプレートBピラー	○	o	サイドパネルインナ	×
j	クロスパネル	○	p	コネクティングピース	○
k	ホイールハウジングアウタ	×	q	コネクティングプレート	○

【Assy 補給品】

部品名	構成部品	部品名	構成部品
Bピラー	h + i	ホイールハウジングアウタ	k + l
サイドメンバ	g + j		

(3) サイドパネルアウトおよびインナパネルカット位置

※Aピラーアウト(下写真★箇所)をカットする際は、フェンダブラケットを外して行います。



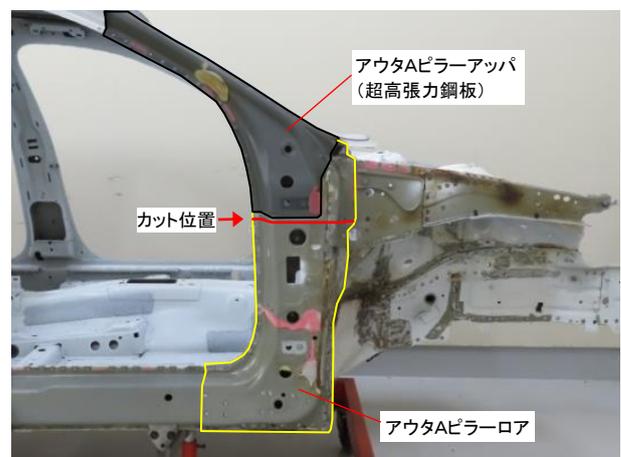
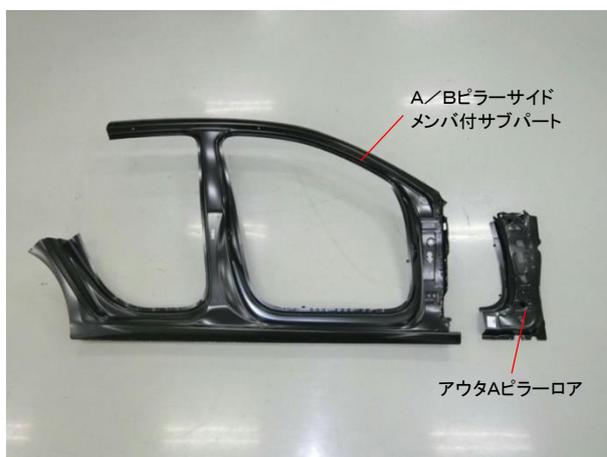
(4) サイドボディ取替

① Aピラー取替

アウタパネルは、補給部品の「A/Bピラーサイドメンバ付サブパート」を使用して取替えます。

アウタAピラーアツパ(アウタAピラーロアの上部に配される部品)は超高張力鋼板が採用されています。

Aピラーロアを取替える際、上部でのカット作業が指示されているため超高張力鋼板の溶接点を切削せずに部品を取替えることが可能です。



＜Aピラー取替範囲例＞

損傷に応じた取替範囲の例を以下に記します。なお、各作業範囲に対して指数がある場合は、その作業項目番号を併記しています。

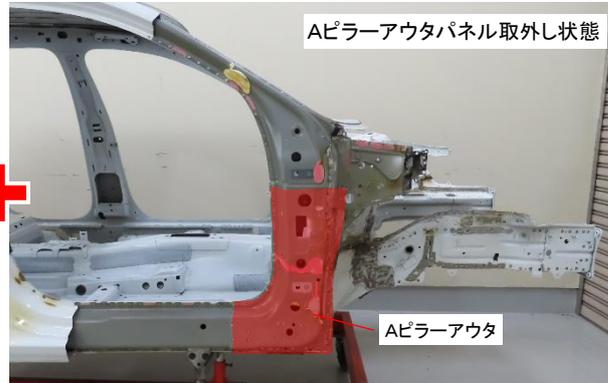
取替範囲例(A): Aピラーアウトパネル取替 (指数項目番号「B195(1)」)



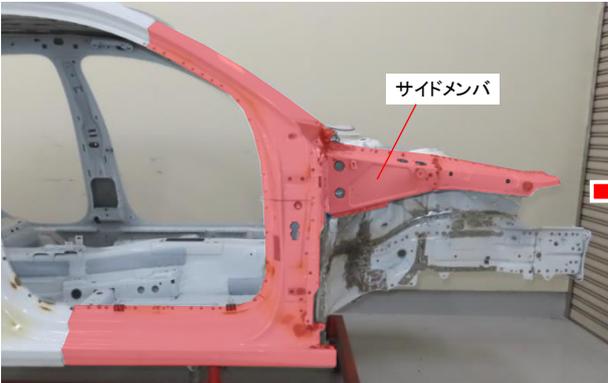
【作業範囲概要】

- (A) Aピラーアウトパネルを中央部および後部カット取替
- (B) Aピラーアウトパネルを上部および後部カット、Aピラーアウトを上部カット取替
※ホイールハウジングは取外し状態
- (C) (B)の作業に加えて、サイドメンバを取替
※ホイールハウジングは取付状態
- (D) (C)の作業に加えて、アウトAピラーアツパを上部カット取替

取替範囲例(B): Aピラーアウトパネル、Aピラーアウト取替 (指数項目番号「B191(1)」)



取替範囲例(C): Aピラーアウトパネル、Aピラーアウト、サイドメンバ取替 (指数項目番号「B190(1)」)



取替範囲例(D): Aピラーアウトパネル、Aピラーアウト、アウトAピラーアツパ、サイドメンバ取替 (指数なし)



②Bピラーおよびサイドメンバアウト取替

アウトパネルは、補給部品の「A/Bピラーサイドメンバ付サブパート」を使用して取替えます。

補給部品の「Bピラー」は、リインホース部とインナパネル部が一体の補給部品で、リインホース部は超高張力鋼板が採用されています。

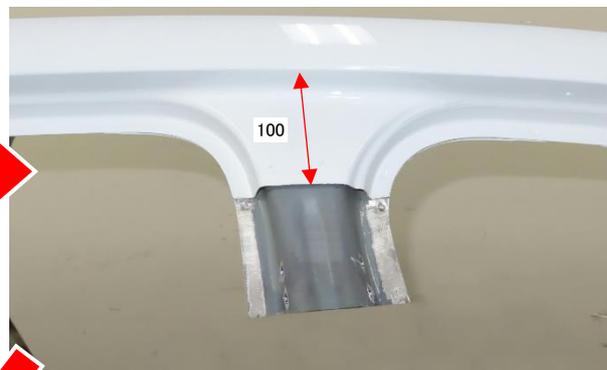
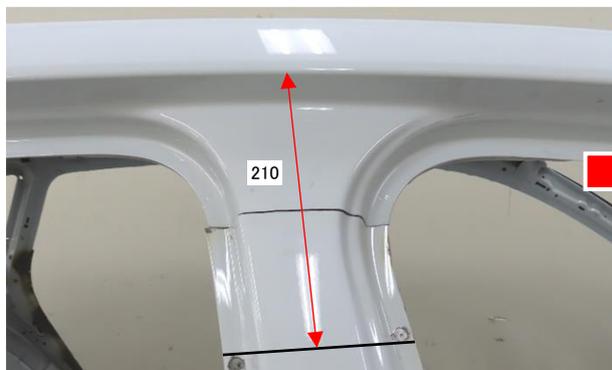
なお、T-Cross、ゴルフ8、T-Roc は A3 Sportback と同様にBピラーが一体で補給されますが、ティグアンは各々が単品で補給されます(2023年4月現在)。



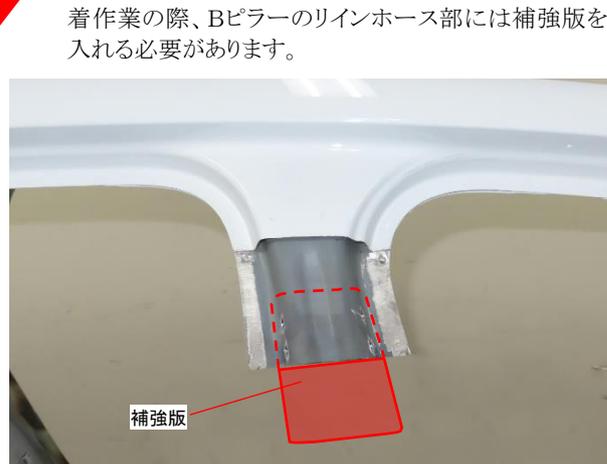
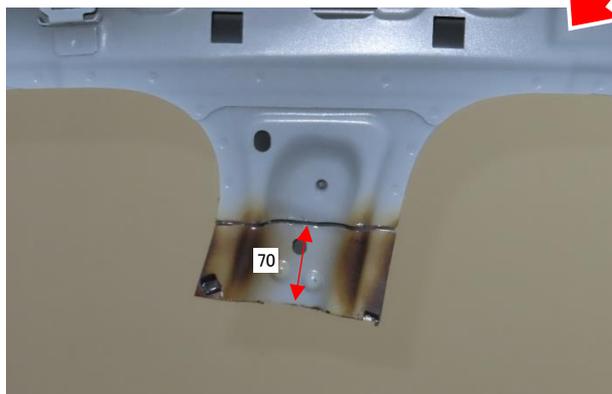
リインホース部(Bピラー表側)は超高張力鋼板が採用されています

Bピラーを取替える際は、超高張力鋼板が採用されている上部でのカットおよび下部の溶接点切削が必要です。上部のカット位置は以下のとおりです。

- a. ルーフサイド端部より 210mm の位置で、A/Bピラーサイドメンバ付サブパートおよび Bピラー(リインホース部、インナパネル部)をカットします。
- b. ルーフサイド端部より 100mm の位置で、A/Bピラーサイドメンバ付サブパートをカットします。



- c. aでカットした位置より 70mm 上の位置で、Bピラーのインナパネル部をカットします。



着作業の際、Bピラーのリインホース部には補強版を入れる必要があります。

<Bピラーおよびサイドメンバアウト取替範囲例>

損傷に応じた取替範囲の例を以下に記します。なお、各作業範囲に対して指数がある場合は、その作業項目番号を併記しています。

取替範囲例(A): サイドメンバアウト前部取替
(指数項目番号「B241」)



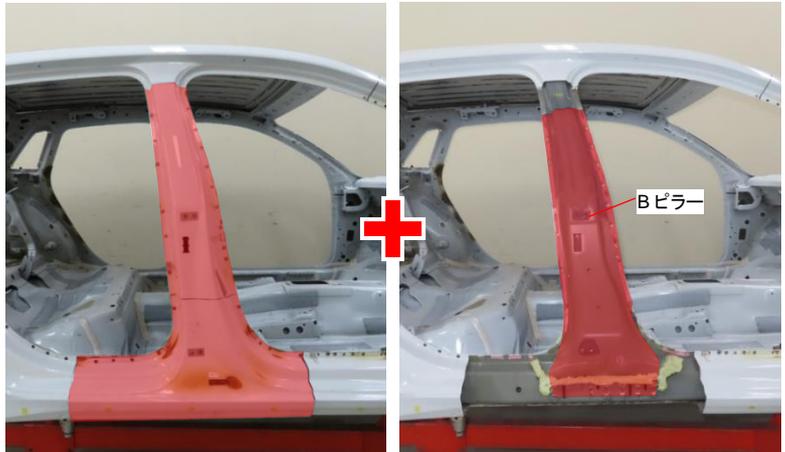
取替範囲例(B): サイドメンバアウト取替
(指数項目番号「B240」)



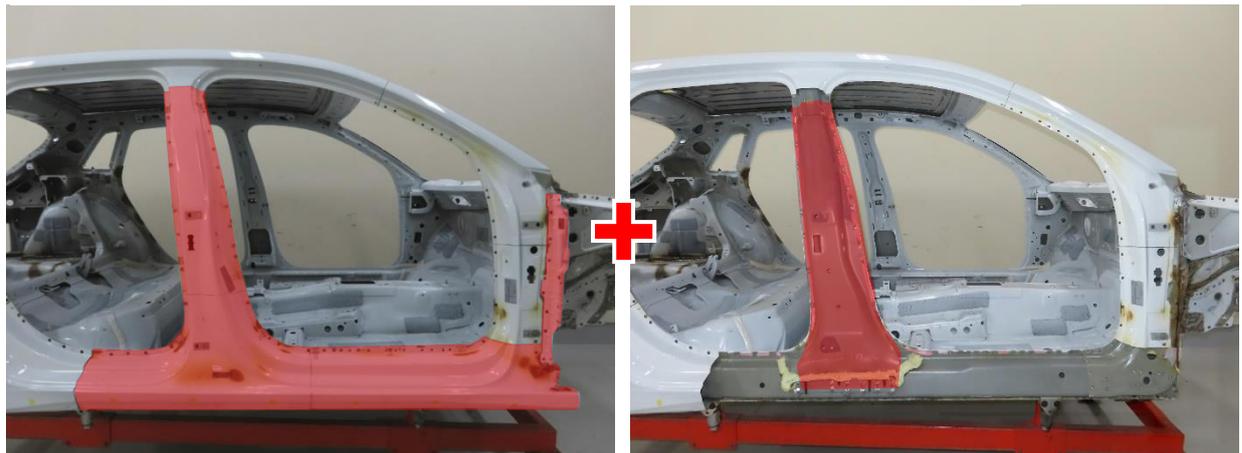
取替範囲例(C): Bピラーアウトパネル取替
(指数項目番号「B235」)



取替範囲例(D): Bピラーアウトパネル、Bピラー取替
(指数項目番号「B230」)



取替範囲例(E): Bピラーアウトパネル、サイドメンバアウト、Bピラー取替 (指数項目番号「B250」)



- 【作業範囲概要】 (A) サイドメンバアウトをカットして前部(Bピラーアウトパネルより前の範囲)を取替
 (B) サイドメンバアウトをカットして前部から後部(Bピラーアウトパネル下部を含んだ範囲)を取替
 (C) Bピラーアウトパネルを上部および前後部でカットして取替
 (D) (C)の範囲に加えて、Bピラー(リインホース、インナ Assy 部品)取替
 (E) (D)の範囲に加えて、(A)の範囲を取替

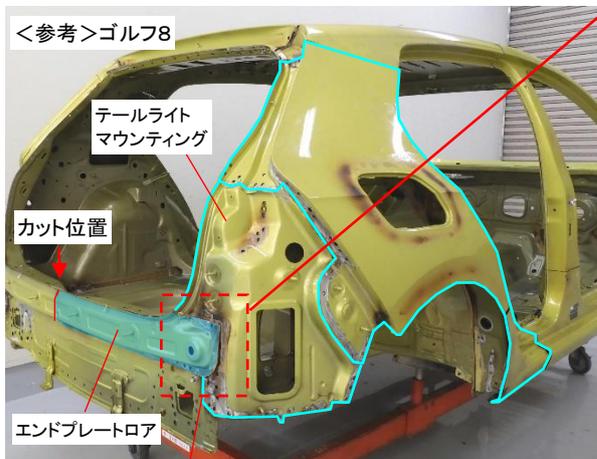
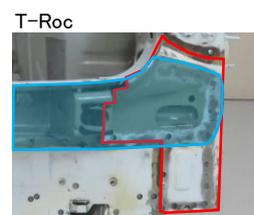
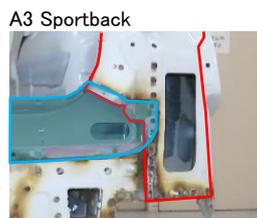
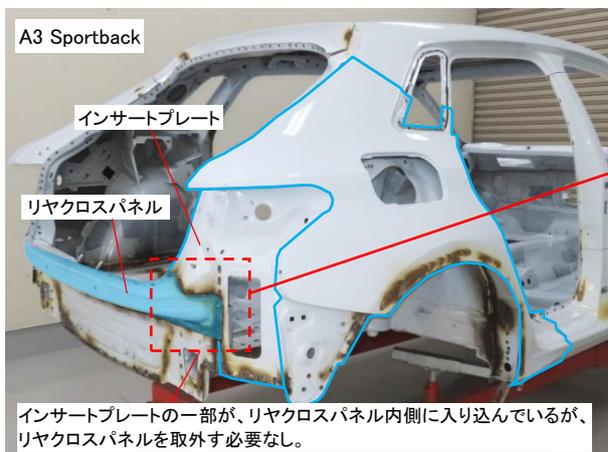
③リヤサイドパネルサブパート取替

補給部品のリヤサイドパネルサブパートは、ドレーンチャンネル部、インサートプレートが一体で補給され、インサートプレートのみ単品部品の補給設定があります。

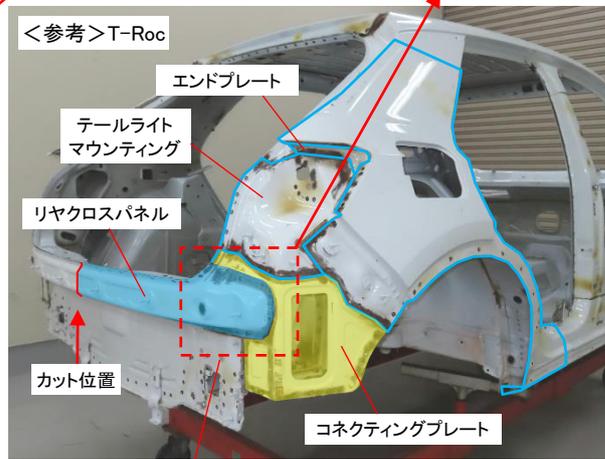


インサートプレートの一部にリヤクロスパネルが重なって取付けられています。しかし、その範囲が狭いため、リヤクロスパネルを外さずともリヤサイドパネルサブパートを取替えることが可能です。

類似構造のゴルフ8、T-Roc は、A3 Sportback と同様にテールライトマウンティング (またはコネクティングプレート) の一部にエンドプレートロア (またはリヤクロスパネル) が重なって取付けられています。両車は A3 Sportback と比べてその範囲が大きいため、エンドプレートロア (またはリヤクロスパネル) を取外す必要があります。



テールライトマウンティングの一部が、エンドプレートロアの内側に入り込んでいるため、エンドプレートロアを取外す



コネクティングプレートの一部が、リヤクロスパネル内側に入り込んでいるためリヤクロスパネルを取外す

<リヤサイドパネルサブパート取替範囲例>

損傷に応じた取替範囲の例を以下に記します。なお、各作業範囲に対して指数がある場合は、その作業項目番号を併記しています。

取替範囲例(A): ロックピラー一部取替
(指数項目番号「B266」)



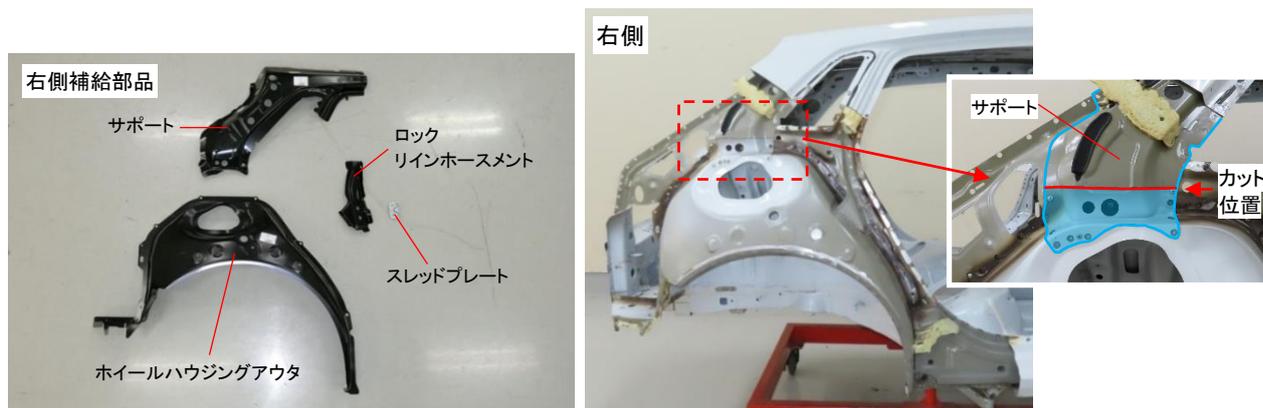
取替範囲例(B): リヤサイドパネルサブパート取替
(指数項目番号「B270」)



【作業範囲概要】(A)リヤサイドパネルサブパート前部のロックピラー部のみを取替
(B)リヤサイドパネルサブパート上部および前部カット取替

④ホイールハウジングアウト取替

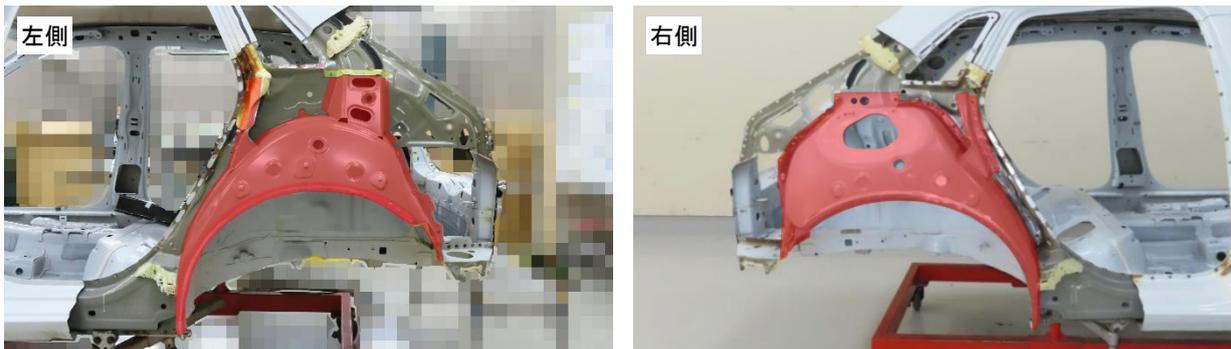
ホイールハウジングアウトの上部にサポートが重なっているため、サポートの下部をカットして取替えます。



<ホイールハウジングアウト取替範囲例>

損傷に応じた取替範囲の例を記します。なお、各作業範囲に対して指数がある場合は、その作業項目番号を併記しています。

取替範囲例(A): ホイールハウジングアウト取替 (指数項目番号「B280」)



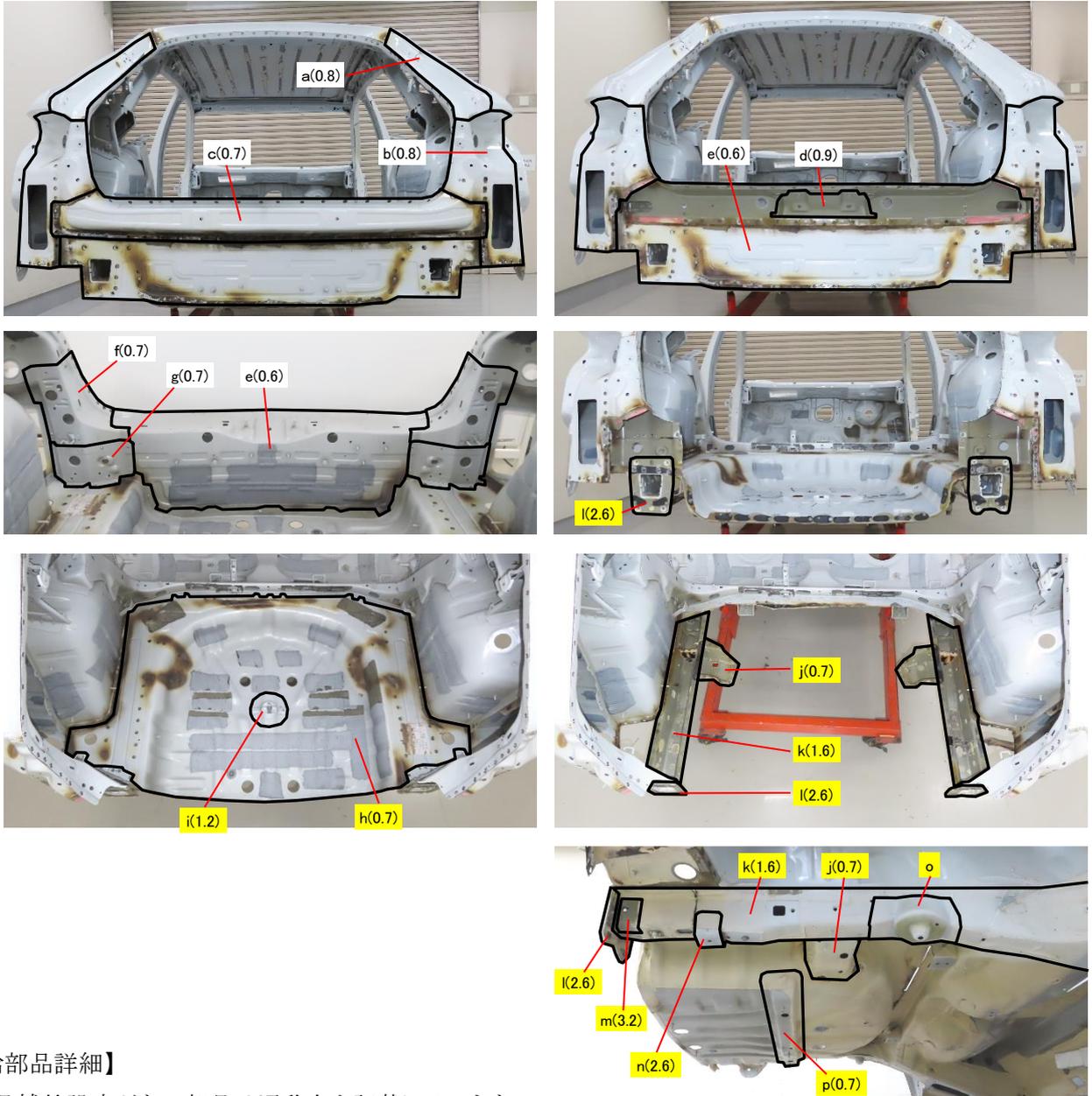
【作業範囲概要】(A)左右ともサポートを下部でカットし、ホイールハウジングアウトを取替

3. リヤボディ構造、補給形態および取替作業

(1) バックパネル、リヤフロア、リヤサイドメンバ補給形態

A3 Sportback の部品番号をゴルフ8、T-Rocと比較し、同じ部品は記号を■でマーキングしています。詳細は下表を参照ください。

(): 板厚 mm、■: ゴルフ8、T-Roc と同じ部品



【補給部品詳細】

※部品補給設定がない部品は通称名を記載しています。

※ゴルフ8、T-Roc と部品番号を比較し、同じ部品には「同」を記載しています(2023年4月現在)。

記号	部品名	補給	ゴルフ8	T-Roc	記号	部品名	補給	ゴルフ8	T-Roc
a	ドレーンチャンネル部	×			i	リテーナ	○	同	同
b	インサートプレート	○			j	クロスリネホースメイトスベアオイルウェル	○	同	同
c	リヤクロスパネル	○			k	リヤサイドメンバ	○	同	
d	ロックキャリア用リネホースメント	×			l	リヤサイドメンバ用クロスパネル	○	同	同
e	クロスパネルリネホース	×			m	リネホース	○	同	同
f	コネクティングピース	○			n	マウンティングエキゾーストシステム	○	同	
g	コネクティングプレート	○			o	リヤスプリングディスクアッパ	○	同	
h	ブーツフロアプレート	○	同	同	p	リヤクロスメンバ	○	同	同

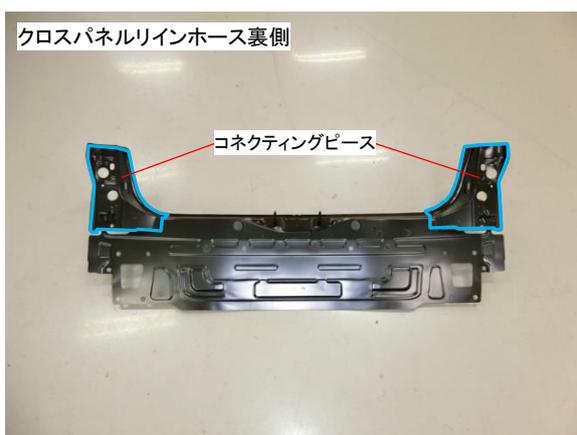
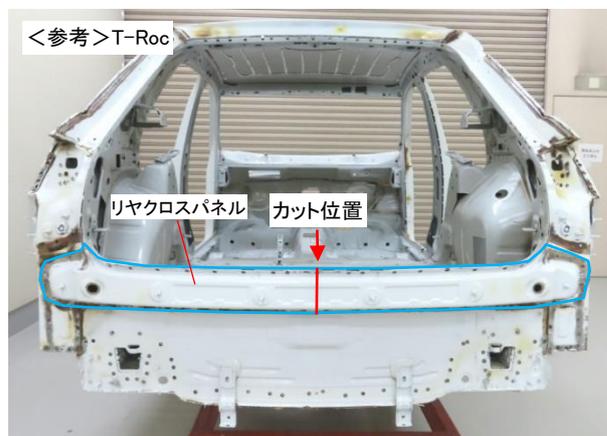
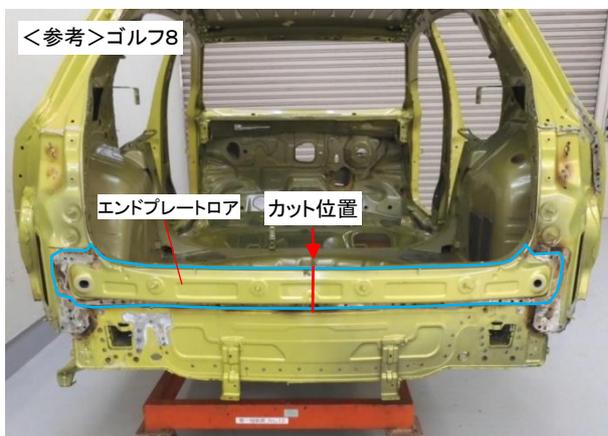
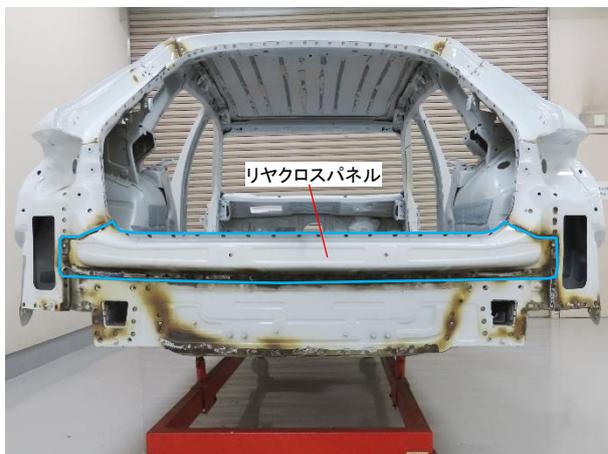
【Assy 補給品】

部品名	構成部品	ゴルフ8	T-Roc
クロスパネルリネホース	d + e + f (両側)		

(2) リヤボディ取替作業

①リヤクロスパネル、クロスパネルラインホース取替

A3 Sportback では、リヤクロスパネルのカット取替は指示されていません。なお、ゴルフ8、T-Roc ではエンドプレートロア(またはリヤクロスパネル)の中央部でのカット取替が指示されています。



クロスパネルラインホースは、裏側両端部にコネクティングピースが取付けられた状態で補給されます。クロスパネルラインホースを取替える際、損傷に応じて片側または両側のコネクティングピースを補給部品から取外し、取替えます。

＜リヤクロスパネル、クロスパネルラインホース取替範囲例＞

損傷に応じた取替範囲の例を以下に記します。なお、各作業範囲に対して指数がある場合は、その作業項目番号を併記しています。

取替範囲例(A):リヤクロスパネル取替 (指数なし)

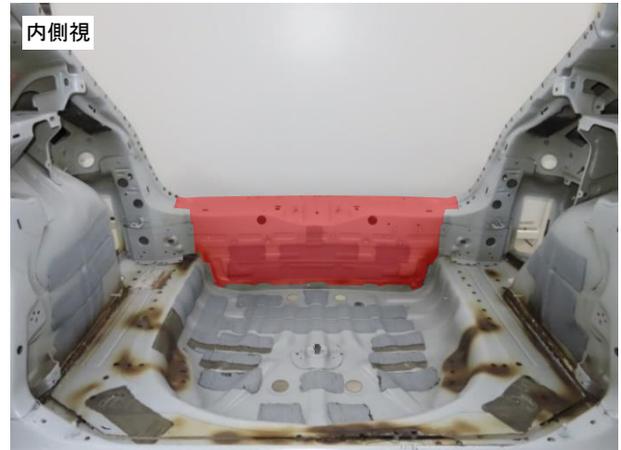


取替範囲例(B):
リヤクロスパネル、クロスパネルラインホース取替
(指数項目番号「B290」)



【作業範囲概要】

- (A)リヤクロスパネルのみの取替
- (B) (A)の範囲に加えて、クロスパネルラインホースを取替
- ※クロスパネルラインホースを取替える際、補給部品から両側のコネクティングピースを取外す



＜リヤサイドパネルサブパート、リヤクロスパネル、リヤエンドプレート取替範囲例＞

取替範囲例(A):リヤサイドパネルサブパート、リヤクロスパネル、リヤエンドプレート取替 (指数項目番号「B310」)

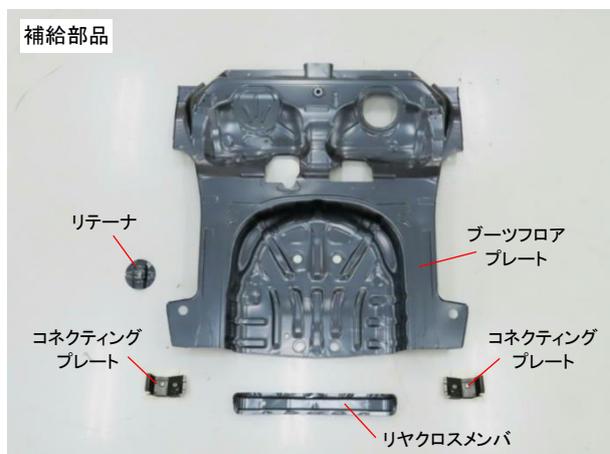


【作業範囲概要】

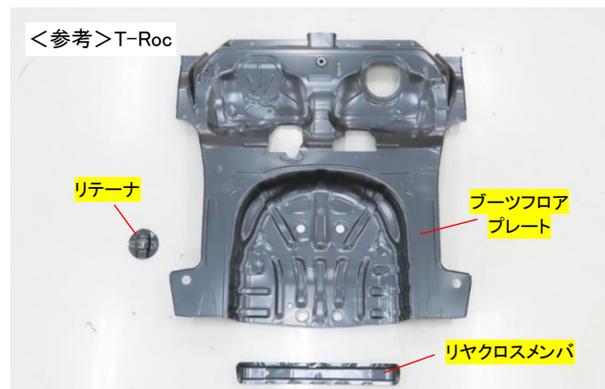
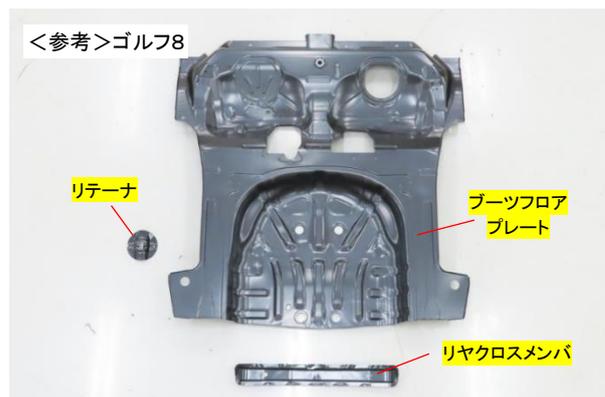
- (A)リヤクロスパネル、リヤエンドプレートに加えて、リヤサイドパネルサブパート上部および前部カット取替
- ※クロスパネルラインホースを取替える際、補給部品からリヤサイドパネルサブパート取替作業と反対側のコネクティングピースを取外す

② ブーツフロアプレート取替

ブーツフロアプレート関連部品は、コネクティングプレート以外は、ゴルフ8、T-Rocと同じ部品番号です(2023年4月現在)。



■ : A3 Sportbackと同じ部品



ブーツフロアプレートは、リヤシートクッションの前方まで1枚の部品のため、取替える際はクロスメンバセンタの後方でカットします。補給部品を取付ける際は、ボディ側カット位置に対して重ね合わせて溶接します。そのため、ボディ側部品および補給部品は重ね代を確保してカットします。

③ リヤサイドメンバ取替

リヤサイドメンバは、前部および後部でのカット作業が指示されており、損傷に応じた範囲での取替作業が可能です。カットして取替える際、リヤサイドメンバ(サイドメンバサブパーツ)と他部品が全て単品で補給されるため、各々の部品を使用して取替えます。

なお、ゴルフ8はA3 Sportbackと同じ補給形態ですが、T-Rocは補給形態が異なり、リヤサイドメンバの単品部品が設定されていないため、リヤサイドメンバはAssy部品を使用して取替えます。



■ : A3 Sportbackと同じ部品

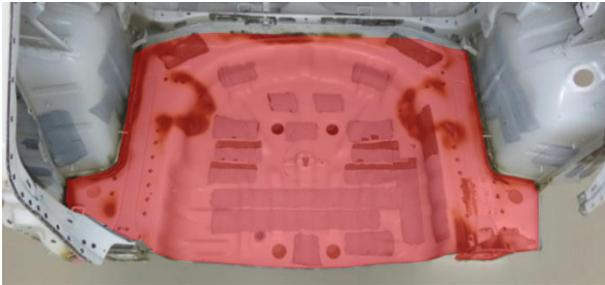


<ブーツフロアプレート、リヤサイドメンバ取替範囲例>

損傷に応じた取替範囲の例を以下に記します。なお、各作業範囲に対して指数がある場合は、その作業項目番号を併記しています。

取替範囲例(A):

ブーツフロアプレート取替 (指数項目番号「B326」)

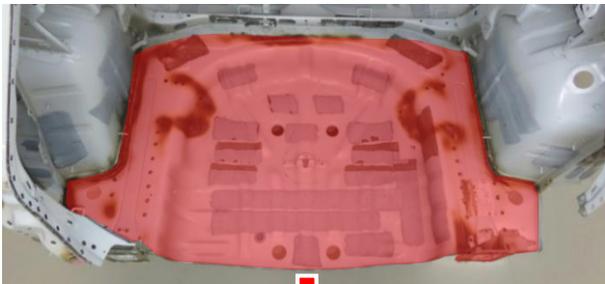


【作業範囲概要】

- (A) ブーツフロアプレート前部カット取替
- (B) ブーツフロアプレートを前部カット、リヤサイドメンバ後部カット取替
- (C) ブーツフロアプレートを前部カット、リヤサイドメンバ中央部カット取替

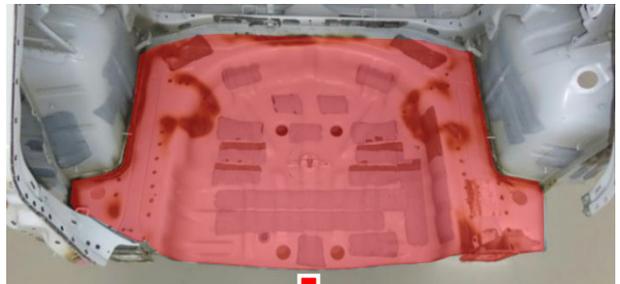
取替範囲例(B):

ブーツフロアプレート、リヤサイドメンバ後部半裁取替 (指数項目番号「B342」)



取替範囲例(C):

ブーツフロアプレート、リヤサイドメンバ半裁取替 (指数なし)

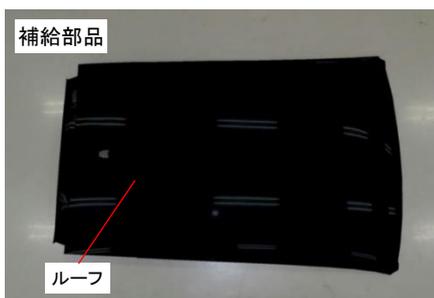


4. ルーフ構造、補給形態および取替作業

(1) ルーフ構造、補給形態

ルーフパネル内側にはインシュレータ(ルーフラインホースメント)が貼付けられており、ルーフと同時に取替えます。

ボディ生産時、ルーフサイド部はレーザーブレイジングで取付けられています。

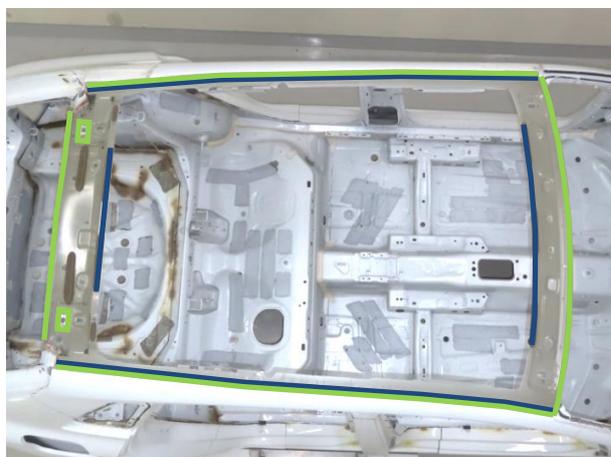


■:レーザーブレイジング

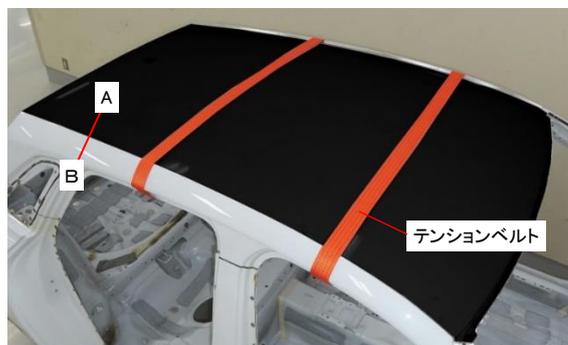
(2) ルーフ取替作業

補給部品を取付ける際、前後のフランジ部は溶接、ルーフサイド部は1液型接着剤(品番:D 190 MKD A3)および2液型接着剤(品番:D 180 004 M2)で接合します。

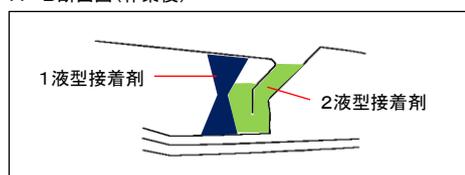
なお、接着剤が硬化するまでの間はテンションベルト等で固定します。



— : 1液型接着剤
— : 2液型接着剤



A-B断面図(作業後)



5. まとめ

今回紹介した内容は、イヤーモデルにより構造が異なる場合がありますので注意いただくとともに、修理作業や見積作成などにおいては現車および最新の情報を確認ください。

また、アウディジャパン(フォルクスワーゲングループジャパン株式会社)では、修理の際に使用するテストやS STなどを指定していますので、該当部位の損傷が確認された場合は「認定ボディショップ」への入庫を推奨しています。

なお、構造調査シリーズ No.J-934「アウディ A3 Sportback(30 TFSI)(GYDLA)」では今回の情報を含め掲載していますので、そちらも活用ください。

JKC

「構造調査シリーズ」新刊のご案内

自研センターでは新型車について「構造調査シリーズ」を発刊しておりますが、今月は右記新刊をご案内いたしますので、是非ご利用ください。

販売価格：国産車 定価 1,174 円 (送料別途)

輸入車 定価 2,263 円 (送料別途)

No.	車名	型式
J-936	ニッサン セレナ e-POWER	GC28、GFC28 系
J-937	スバル ソルテラ	XEAM10X、YEAM15X 系
J-938	スバル クロストレック	GUD、GUE 系

お申込みは、当社ホームページからお願いします。

<https://jikencenter.co.jp/>

お問合せなどにつきましては

自研センター総務企画部までお願いします。

TEL 047-328-9111 FAX 047-327-6737

JKC
Jikencenter



<https://jikencenter.co.jp/>

自研センターニュース 2023.8 (通巻575号) 令和5年8月15日発行

発行人／関正利 編集人／川井雅信

© 発行所／株式会社自研センター 〒272-0001 千葉県市川市二俣678番地28 Tel(047)328-9111(代表) Fax(047)327-6737
定価500円(送料別途)

本誌の一部あるいは全部を無断で複写、複製、あるいは転載することは、法律で認められた場合を除き、
著作者の権利の侵害となります。必要な場合には予め、発行人あて、書面で許諾を求めてください。
お問い合わせは、自研センターニュース編集事務局までご連絡ください。